

野口遵記念館建設 市民ワークショップ通信

日時：平成30年11月6日（火）19：00～
会場：延岡市役所2階 講堂



開催の概要：市民の皆様が親しまれた野口記念館を新たに作り直すプロジェクトが、基本構想・基本計画を経ていよいよ設計段階に入りました。設計を進めるにあたり、市民の皆様と、この野口遵記念館のあるべき形を一緒に考え、より良い施設にするため、全5回の「市民ワークショップ」を開催致します。公募、推薦を含め33名の市民がメンバーとなり、第1回目は29名の参加がありました。当日は、設計者よりプロポーザルの提案内容を説明した後に、4つの班に分かれてグループワークを行いました。模型や図面で計画を確認しながら行った意見交換では、様々な視点から多くの意見が出され、設計者や行政担当者のみならず、参加者同士でも、お互いの立場や意見の違いがあることを再認識する機会となりました。その中でも、お互いに異なる意見にも真摯に耳を傾け、積極的な意見交換を行うことで、より良い設計案へ進化していく期待と可能性を感じることができました。

当日の全体の流れ

- 1.開会の挨拶
- 2.事務局紹介
- 3.主旨説明
- 4.プロポーザル提案内容の説明
- 5.ワーキング（自己紹介、意見交換、とりまとめ、グループ発表）
- 6.設計者より一言
- 7.閉会、事務局連絡

参加者 **29人**

ご意見の概要

4つの班に分かれてのグループワーク

ワーキングのテーマ「どんなことがしたい？どんなモノが欲しい？」

施設機能

時代の流れ、市民のニーズによって変えられる施設/これまで利用されてきた活動を減らさないように/野口記念館を中心ににぎわう空間に/人が集まる拠点に/いにしへの雰囲気ある町/素人も晴れの場としてフリーに使える場がほしい/子供たちが行きたいと思う場所おいしいもの楽しいものづくり/高校総合文化祭等のメイン会場/市民が集いやすい会館/談話がしやすい行きやすい会館

展示

旭化成の功績を社会教育（次世代）に生かす/野口遵「旭化成」文化も打ち出して良い。胸像一つではわからない

外部

ににぎの庭（屋外）の機能をうまく考えてください（市民が集まる場所）/子供が軽く遊べるアスレチック/屋外駐車場に1～2ヶ所程トイレがほしい/屋外ロビーの活用（子供たちにとって楽しい場所）/駐車場が足りないイベントがある/駐車場が無料だと利用しやすい

外観

外観イメージ大事/夜の景観が美しく見える照明計画をしてほしい/ガラスのファサードはまちににぎわいを感じるのうれしいです/落ち着いた外観/市役所とのバランス、外形、色調

トイレ

トイレスペース トイレの数は女性が多いので今後考えてほしい/消毒用、トイレにつけておく/トイレの便座 消毒スプレを設置してほしい/すてきなトイレ。男女つかえる？/2F客席のトイレがない/北側南側両方向にほしい/トイレ（男女共）両側にほしい。外に出て廻るのが大変/トイレの数（子供たちに対応）

ホール

催し物の種類

映画鑑賞の会場としての機能（少ない）/生活発表会おゆうぎ会/郷土芸能大会/音楽、演劇、コンクール等に使用できる

音響

音響命。楽器・声/古楽器の演奏、撥弦楽器などの演奏もできるホール（ギター・リュート）読み聞かせ等小規模でもつかえるように/響を大切にしてほしい/防音+「響」/音響、照明、トイレ、授乳室/音響が大事/音響が気になる/音響に関して/子供たちが本物（音等）に出会える場/反射板の具体的なイメージ

舞台/舞台設備

能舞台仕様を考えてほしい。第22回市民能舞台を続けておりぜひ城山城跡下にある舞台なので「能楽の街」にふさわしい舞台を作ってほしい（ステージの工夫）/舞台の奥行きを広く/プロジェクター設備の常設/袖は幕が常設でない方が良い。袖が使えた方が良い/せりはできないか/緞帳が必要/花道 常設？仮設？/野口記念館はスポットライトが一つしかないの二つ以上ほしい

客席

座席の前のスペースが狭く、奥に入る時は現在はその列は立っている/1F客席からの避難方向（避難し易く）/逃げにくい。非常口2方向/1Fの入口が一箇所/終演後出口がもう少しほしい。人が集まってしまう/非常時避難ルートが1箇所/安全経路を確保する/安全にみんなが避難出来るように 経路を説明出来る/客席の質感/客席1階（521席）は延岡の人口からしてとても良いです/客席のスペース

倉庫

古楽器・チェンバロ・ポジティブオルガン等も管理し入れる事のできる楽器保管庫/倉庫 備品庫がほしい/倉庫が少ない 舞台袖を確保しつつ倉庫(?)/ピアノ庫に二台入る？

共用部

ロビーコンサートができるように/カフェ、コンサートの合間につかえる/飲食スペース レストラン 喫茶店などの設備/カフェがほしい/カフェスペース/勉強スペース/保健室と医務室が用意されている/ベビーカーの置き場、ベビーカーに入れてきた幼児が参加する場合/キッズスペース/プレイルーム（幼児が遊ぶ）をきちんと作ってほしい/子供が軽く遊べるアスレチック/パブリックビュー、ギャラリー、政治的なもの、展示、カラオケ道場、喫茶店、講演会/エレベーターをもう一つ増やす/階段をつかひやすく（蹴上を低く）/出演者（障がいのある人、高齢者）が動きやすいつくり/図書館、内藤記念館等つながる文化イベントができる施設/3ヶ所の入り口のメインは？/食事のできる場所の確保/昼食など座って食べれる十分なスペースがほしい/広いホワイエを希望/もぎりはどこか？

楽屋

楽屋にトイレ、シャワーモニターTV設備

搬入

搬入口 雨に濡れずにトラックが入り物をおけるように/搬入口を逆にした方が使いやすいのでは/搬入口・荷捌を舞台と直交、レベルが難しい

練習室

合唱の練習室/軽音練習出来る練習室がほしい/楽器アンサンブルの練習/鏡張りの壁（練習室）/市民グループの研究発表ができる空間、場所

備品

ウェンガー演奏者椅子 譜面台/指揮台/練習室にピアノがほしい/スタンウェイのピアノを買って欲しい/ピアノを新しく入れてほしい/ポジティブオルガンがほしい

材料

延岡人にとって鉄杉（石）は地元感を持っていません



会場全体の様子



プロポーザル提案内容の説明の様子



グループ発表の様子

設計者、事務局からのコメント

設計者コメント：

第一回目のワークショップから、20歳から79歳までまさに老若男女多様な方々にご参加いただき、ご意見も本当に多様なものを頂きました。特に、使い勝手に関わる具体的かつ専門的なご意見が散見され、延岡市の皆さんの文化・芸術に対する造詣の深さを感じました。設計者として身の引き締まる思いです。

ワークショップは意見の優劣を競うものではなく、出来るだけ多様な意見の公約数・公倍数を見つけ出すためのものです。多様な立場で多数の意見が出され、参加者・設計者・行政担当者それぞれが共にそれまで考えていなかった思いや考え方に気づき、互いに理解し合うことが大切だと思います。

そのような対話の中から生み出された新しい案を、今後継続して積み上げ、より良い野口遵記念館の計画を育てていきたいと思えます。これからも宜しくお願いします。

事務局コメント：

この度は、「野口遵記念館建設市民ワークショップ」にご参加いただき、また、たくさんの建設的なご意見をいただきありがとうございました。

第1回目の市民ワークショップでは、「どんなことがしたい？どんなモノが欲しい？」をテーマに広くご意見をお願いしたところ、例えば、ホールの音響についてや、客席周辺のスペース、トイレの配置など、現在の野口記念館が抱える課題について、実際に長年にわたって利用されてきたみなさまの視点から、様々なご意見をいただくことができました。

今回のワークショップでの活発な議論からは、新しい「野口遵記念館」に対する大きな期待を強く感じるとともに、事務局として今後の事業推進に一層努力していく気持ちを新たにしました。

今後は、みなさまからいただいたご意見を踏まえ、設計者と協議を行いながら、設計を進めてまいりたいと考えております。市民のみなさまと一緒に、「野口遵記念館」をつくり上げて行きたいと考えておりますので、これからもよろしく願いいたします。

設計者 香山・小嶋・菊池・松下・コトブキ・オーツ特定建築設計共同体

事務局 延岡市教育委員会 野口遵（したがう）記念館建設室

【お問い合わせ】

〒882-0822
宮崎県延岡市南町2丁目1番地8（市役所南別館）
延岡市教育委員会
野口遵（したがう）記念館建設室
tel:0982-20-5523
fax:0982-34-6438
e-mail:
noguchi-k@city.nobeoka.miyazaki.jp

今後の開催予定

第2回	延岡市役所講堂	12月12日	・パブリックエリア（ホール外）の使われ方のイメージ/最新案の検討(予定)
第3回	延岡市役所講堂	2月13日	・ホールまわりの使われ方のイメージ/最新案の検討（予定）
第4回	延岡市役所講堂	4月中旬	・施設の活用の仕方、活用事例紹介/最新案の検討（予定）
第5回	延岡市役所講堂	7月中旬	・基本設計説明会/意見交換